

### 3 市町村行政の情報化

#### 【現状、課題と取組の方向性】

本県及び県内市町村では、これまで、高度なセキュリティを確保した地方公共団体間専用ネットワークである「総合行政ネットワーク（LGWAN）」や「住民基本台帳ネットワークシステム（住基ネット）」の運用による行政手続業務の効率化など、電子自治体化の推進に取り組んできました。平成20年11月には宮城県電子自治体推進協議会を設置し、平成22年7月からは県及び県内24市町が共同で「LGWAN-ASP\*」を活用した「宮城県・市町村共同電子申請サービス（みやぎ電子申請サービス）」の運用を開始しており、単独導入の場合と比較して大幅な経費削減を実現しています。

今回の震災では、想定を上回る大津波により沿岸市町の住民データが、機器、設備あるいは庁舎ごと流失し、情報システムや情報データの復旧に時間を要したことが住民の安否確認や生活再建の大きな障壁になりました。こうした甚大な被害が震災以降の全国の行政機関の危機管理を促す契機となった一方で、震災前に住民データを遠隔地のデータセンターに保管したり、行政文書をデジタル化保存したりして被害規模を抑えることができた自治体の取組は実効性を評価され、現在、政府や自治体の間では、クラウド・コンピューティング技術を用いた業務システムの構築やデータセンター\*活用の動きが活発になっています。

震災の被害や復興関連事業への注力により、市町村、特に沿岸部で、ICTの知識に長けた職員・マンパワーの不足等が深刻となっています。複数自治体との情報システム共同利用は、コスト削減や制度改正への迅速な対応を可能とするものの、導入に至るまでの移行作業は庁内事務の見直し・合理化や自治体間調整など相応の労力を伴います。本県では、専門的なスキルを有する市町村ITアドバイザーを設置することにより、こうした市町村への技術的サポートを実施してきました。

さらに、平成25年5月に関連法の成立により社会保障・税共通番号制度（→45ページ「トピック」）が創設され、新たな全国ネットワークによる大規模な情報連携等が実現する予定です。平成28年1月の運用開始を控え、各自治体には既存システムの改修と、庁内業務と組織構造の分析をはじめとした庁内システム全体の最適化が緊急の課題として求められています。

クラウド・コンピューティング技術の導入は、震災の残した教訓である業務継続性の確保及びデータ保全の有効性に加え、新たなシステムの構築によるワンストップ・サービスの推進と、節減したコストを住民ニーズに応じた新サービスへ有効活用できることも期待されることから、本県では、県内市町村の業務システムへの共同導入等について、今後も支援を継続していきます。

分野	2	行政の情報化	項目	3	市町村行政の情報化
----	---	--------	----	---	-----------

1	総合行政ネットワーク（LGWAN）の運用				
目的・概要		性質・手法		システム	
<p>全国の地方公共団体を相互に接続する行政機関専用のネットワーク「LGWAN」をセキュリティに配慮しながら適切に運用します。</p>					
重点目標		安全・安心な暮らし	快適・便利な暮らし	活力ある豊かな地域	
		情報活用力の向上	行政運営の最適化		
主体		県，市町村			
関連URL		<a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho/lgwan-index.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho/lgwan-index.html</a>			
スケジュール		H 2 6	H 2 7	H 2 8	
～H 2 5		システムの維持・運用			
継続		→			
担当		震災復興・企画部 情報政策課			

2	住民基本台帳ネットワークシステムの運用				
目的・概要		性質・手法		システム	
<p>住民の方々の利便性の向上と国及び地方公共団体の行政の合理化に資するため，居住関係を公証する住民基本台帳をネットワーク化し，本人確認情報（氏名・住所・性別・生年月日の4情報，住民票コード及び付随情報）により，全国共通の本人確認ができるシステムとして構築，運用されています。</p>					
重点目標		安全・安心な暮らし	快適・便利な暮らし	活力ある豊かな地域	
		情報活用力の向上	行政運営の最適化		
主体		県，市町村，国			
関連URL		<a href="http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/daityo/">http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/daityo/</a>			
スケジュール		H 2 6	H 2 7	H 2 8	
～H 2 5		運用			
継続		→			
担当		総務部 市町村課			

分野	2	行政の情報化	項目	3	市町村行政の情報化
----	---	--------	----	---	-----------

### 3 市町村業務システムの共同クラウド化の推進

#### 目的・概要

#### 性質・手法

#### その他

情報システムや関連機器等は、市町村が共同で調達することにより経費の削減につながることから、市町村の各種業務システムの共同クラウド化による事務の効率化、経費削減、災害対策の強化を図ります。  
「自治体クラウド専門部会」において、市町村の共同クラウド調達のための支援を進めていきます。

#### 重点目標

安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域  
情報活用力の向上 行政運営の最適化

#### 主体

宮城県電子自治体推進協議会自治体クラウド専門部会  
(県と全市町村で構成)

#### スケジュール

	H26	H27	H28
～H25	運営・クラウド調達支援		
継続	→		

#### 指標

市町村の共同利用クラウドグループ数

現状値(H24年3月末)	0グループ	目標値(28年度末)	2グループ
--------------	-------	------------	-------

#### 担当

震災復興・企画部 情報政策課

#### 参考

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho/sityouson.html>



分野	2	行政の情報化	項目	3	市町村行政の情報化
----	---	--------	----	---	-----------

4	市町村 I Tアドバイザーの設置		
目的・概要		性質・手法	その他
<p>市町村の電子自治体化を推進するため、県が I Tアドバイザーを委託し、市町村に対して技術的サポートやアドバイスを実施することにより適切な I T調達と業務の効率化を図ります。また、市町村が開催する情報処理研修に I Tアドバイザーを講師派遣するなど、市町村の情報関係職員等の教育、育成に取り組みます。</p>			
重点目標		安全・安心な暮らし	快適・便利なくらし
		情報活用力の向上	活力ある豊かな地域
			行政運営の最適化
主体		県	
関連URL		<a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho/sityouson.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho/sityouson.html</a>	
スケジュール		H 2 6	H 2 7
～H 2 5		サポート、アドバイス実施	
継続		→	
担当		震災復興・企画部 情報政策課	

5	市町村職員への研修機会の提供		
目的・概要		性質・手法	その他
<p>市町村情報担当職員の I Tスキル向上を図るため、県が実施する職員研修への参加機会を提供し、市町村における電子自治体化の推進を支援します。</p>			
重点目標		安全・安心な暮らし	快適・便利なくらし
		情報活用力の向上	活力ある豊かな地域
			行政運営の最適化
主体		県	
スケジュール		H 2 6	H 2 7
～H 2 5		支援実施	
継続		→	
担当		震災復興・企画部 情報政策課	
参考		2-1-10情報システム調達研修の実施	

分野	2	行政の情報化	項目	3	市町村行政の情報化
トピックス		社会保障・税番号制度			

平成25年5月24日に社会保障・税番号制度（以下「番号制度」といいます。）関連4法が参議院本会議で成立したことから、平成27年10月には全国民に対し個人番号が付番、通知され、平成28年1月から社会保障・税・災害対策の3分野で個人番号の利用が開始されることとなりました。また、併せて、法人等に対しても、法人番号が付番、通知されます。

番号制度は、複数の機関に存在する特定の個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための基盤（インフラ）となるもので、国の行政機関や地方自治体等が相互にネットワークでつながり、特定の事務に関して必要な個人情報を照会し合うことができるものです。

番号制度が導入されると公的機関の情報連携が正確かつスピーディになり、住民の皆さん一人一人の情報を正確に把握することが可能となり、よりきめ細やかな社会保障の給付ができるようになります。身近な例では、地元自治体への申請手続きの際にいろいろな添付書類を用意する手間が省けるなど、申請に係る負担が軽減できるなどのメリットがあり、今後の電子行政化の中核となる制度です。

番号制度はスウェーデンやアメリカなど諸外国でも運用されておりますが、日本における番号制度の導入の理由としては、次の3つの要因が挙げられています。一つ目は、少子高齢社会の到来のもとで、限られた歳入において、きめ細やかな社会保障サービスを提供するため個人の所得水準を正確に把握する必要があることが挙げられます。二つ目は、我が国の危機的な財政状況のもとで行政の効率化と行政サービスの充実が求められていることです。三つ目は、震災を契機として、今後の大災害の発生に備え、被災者の個人情報を収集・活用して有効に被災者支援を行う必要があることです。

一方で番号制度では特定個人情報が取り扱われることから運用にあたり個人情報保護に特段の配慮が必要とされます。そのため、個人情報保護の観点から個人情報漏えい防止のため、国は第三者機関を新たに設置し、情報の適正な取扱いについて監視していくとともに、住民は各自の個人用のホームページである「マイ・ポータル」を持つことで、自分の個人情報について、誰が、なぜアクセスしたのかを確認していく仕組みが作られる予定です。

今後、番号制度の導入の後には、よりきめ細やかな行政サービスの実現や行政の効率化などを目指し、個人番号の利用範囲の拡大について検討することが予定されています。

## 1 エネルギー対策と公害の防止

## 【現状、課題と取組の方向性】

地球温暖化問題への対策は、従来から、エネルギー自給率向上の議論とともに、緊急に解決すべき課題とされてきましたが、長期間の停電や東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故など我が国のエネルギー供給の脆弱さを垣間見た震災以降は、特に人々の環境やエネルギーに対する意識が高まり、その在り方が議論されています。

震災は、私たちに、普段何気なく使っているエネルギーが有限のものであり、CO<sub>2</sub>削減による地球温暖化対策という観点だけでなく、自立・分散型電源の確保やエネルギーマネジメントなどの必要性を改めて認識させました。パソコンやスマートフォンに限らず、ICTが身近な暮らしに溶け込んでいることは、高機能な家電、自動車など身の回りの道具などからうかがえますが、これらはすべて電気などのエネルギーなくしては動きません。また、最近では、家や住宅街に対しても「スマート…」の名が付けられるとともに、「エコ」や「節電」が巷（ちまた）のキーワードとして定着し、太陽光発電設備の個人住宅への設置が一般的なものとして普及しているほか、環境に対する関心の高まりや税制優遇措置を受けて、電気自動車（EV）など低公害車の割合も増加しています。

県内では、復興に向けた新たなまちづくりを契機として、太陽光、風力、地熱及びバイオマス等の再生可能エネルギー\*の利活用やスマートグリッド\*等を導入するなど、エコタウンの形成に取り組む市町村もあり、エネルギー問題だけでなく、様々な環境問題に対してICTを問題解決の手段として活用することは、今後、ますます重要視され、産学官連携による取組も期待されるところです。

また、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故以来、行政からの県民生活の安全・安心に関する情報を迅速に、かつ、正確に提供することの重要性が全国で議論され、これまで以上に、情報の公開、提供を通じた信頼・安心の確保やサポート体制の充実が必要とされています。

私たちを取り巻く環境・生活問題は、廃棄物排出量の増大や食品にかかわるトラブルなどの身近な問題から、地球温暖化や資源エネルギーの枯渇などといった地球的規模の環境問題まで、広がりを見せています。

本県では、健全で恵み豊かな環境を守るとともに、誰もが安心して安全に暮らせる社会づくりに取り組んでいきます。



分野	3	環境・生活・衛生・廃棄物	項目	1	エネルギー対策と公害の防止
----	---	--------------	----	---	---------------

1 市町村の再生可能エネルギーを活用したまちづくりへの形成支援

目的・概要

性質・手法

情報発信

その他

県内市町村の再生可能エネルギーを活用した環境に配慮したまちづくり（エコタウン、スマートシティ）の形成を支援します。市町村との情報共有のための連絡会議を設置するほか、国の電力システムや電力会社のインフラ整備の状況を踏まえつつ、市町村が行うまちづくりへの再生可能エネルギー設備やエネルギーマネジメントシステム（CEMS）の導入を後押しするとともに、情報発信を行います。

重点目標

安全・安心な暮らし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

主体

県

関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/saisei/sisin.html>

スケジュール

		H 2 6	H 2 7	H 2 8
	～H 2 5	実施		
新	実施	→		

担当

環境生活部 再生可能エネルギー室

2 小学校への電力監視測定器の導入による環境配慮行動の促進

目的・概要

性質・手法

システム

環境教育実践「見える化」事業の一環として実施される事業で、京都市における先駆事業に倣い、環境教育に率先して取り組む小学校の希望を募り、電力消費量を見える化する電力監視測定器を設置し、環境教育に活用します。

小学校の環境教育を入口として「環境配慮行動」が子どもを核に学校や家庭、さらには地域全体での取組に繋がることで、低炭素型のライフスタイルが定着することを目指します。

重点目標

安全・安心な暮らし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

主体

県

関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/229402.pdf>

スケジュール

		H 2 6	H 2 7	H 2 8
	～H 2 5	実施		
	継続	→		

指標

電力監視測定器（電力消費量見える化システム）設置小学校数（累計）

現状値(25年6月末)	14校	目標値(27年度末)	21校
-------------	-----	------------	-----

担当

環境生活部 環境政策課

分野	3	環境・生活・衛生・廃棄物	項目	1	エネルギー対策と公害の防止
----	---	--------------	----	---	---------------

### 3 宮城県放射線・放射能に関するポータルサイトの運営

#### 目的・概要

#### 性質・手法

#### システム

#### 情報発信

福島第一原子力発電所事故による県内の放射能の影響について、各種放射線・放射能の測定値や県の方針の公表など、放射線・放射能に関する正確な情報を県内外にわかりやすく、迅速に伝えるため、ポータルサイトを開設しています。

県民の放射線・放射能に対する不安の払しょくを目標として、サイトコンテンツの内容充実に向けて努めています。

#### 重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

#### 主体

県、市町村の一部

#### 関連URL

<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/>

#### スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運営		
継続	→		

#### 担当

環境生活部 原子力安全対策課

#### 参考

宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

放射能情報サイトみやぎ ●文字サイズ 大 中 小 ●表示言語 English 中文 한국어

宮城県内の放射線・放射能に関する情報を正確に分かりやすくお伝えします。 このページを印刷する

ホーム | 新着情報 | 測定体系図 | 各種資料 | 催し物 | Q&A | 広報 | リンク集 | サイトマップ | お問い合わせ サイト内検索

#### 宮城県 空間放射線線量率マップ

▼モニタリングポスト設置箇所

使い方:表示されている計測ポイントをクリックすると情報が表示されます



●項目別「放射線・放射能測定情報」

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報(全国情報)

厚生労働省 食品中の放射性物質の検索

項目別の放射線・放射能測定結果についてご案内します。

基準値等について

市町村ごとの各種測定結果

水道水マップ

条件による測定結果検索

その他の測定結果(流通食品・降下物・周辺環境等)

校庭・プールの測定結果

●生活関連情報

日常生活での放射線の影響等についてご案内します。

健康・食品関連

●生産者向け情報

生産者向け情報についてご案内します。

お知らせ

損害賠償



分野 3 環境・生活・衛生・廃棄物 項目 1 エネルギー対策と公害の防止

4

## 環境放射線監視システムの運用・再構築

## 目的・概要

性質・手法 システム

東北電力女川原子力発電所周辺における環境放射線については、「環境放射線監視システム」により連続監視を行っていましたが、震災により原子力センターが壊滅、中央サーバーが使用不能となりました。また、7局あったモニタリングステーションのうち4局が壊滅しました。現在は、バックアップサーバー（県庁局）にて代替処理を実施していますが、原子力センターの再建にあわせ、福島第一原子力発電所事故を受け強化した監視体制をふまえ、システムを再構築します。

## 重点目標

安全・安心な暮らし

快適・便利な暮らし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

## 主体

県

## 関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/kankyo-onhaisui.html>

## スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	更新	運用	
継続	→		

## 担当

環境生活部 原子力安全対策課

## 参考

宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

分野 3 環境・生活・衛生・廃棄物 項目 1 エネルギー対策と公害の防止

## 5 産業廃棄物処理業等管理システムの導入

## 目的・概要

性質・手法

システム

情報発信

電子システムの構築により廃棄物処理法に基づいて、許可された産業廃棄物処理業者及び産業廃棄物処理施設等（約4,000事業者、約1,000施設）のデータベース化を図ることにより、許可事務の効率化、更なる産業廃棄物の処理の適正化を目指します。

## 重点目標

安全・安心な暮らし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

## 主体

県

## 関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/syuun-index.html>

## スケジュール

		H 2 6	H 2 7	H 2 8
	～H 2 5	システム開発	運用開始	
新		→		

## 指標

データベース化する事業者・施設数

現状値(26年3月末)

0件

目標値(28年度末)

5,000件

## 担当

環境生活部 循環型社会推進課

## 6 産業廃棄物処理実績報告書等の電子報告システムの構築

## 目的・概要

性質・手法

システム

情報発信

産業廃棄物処理の透明化を図り、排出事業者が適正な処理業者を選定する際の一助とするため、収集運搬業者や処分業者から処理実績の報告を受け、集計結果を公表しています。事業者が報告用サイト「みやぎ産廃報告ネット」から入力・提出したデータなどを自動集計して全県的な情報共有ができるようシステムを構築します。

## 重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

## 主体

県

## 関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/houkoku-index.html>

## スケジュール

		H 2 6	H 2 7	H 2 8
	H 2 5	運用・機能改修	運用	
新	構築	→		

## 指標

報告用サイトによる報告件数

現状値(25年9月末)

0

目標値(28年度末)

2,500件  
(許可業者の70%)

## 担当

環境生活部 循環型社会推進課

## 参考

宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

分野 3 環境・生活・衛生・廃棄物

情報発信サイト等

**みやぎ環境e-NEWS**

メルマガ

産業廃棄物の3Rに関すること、新エネルギーや省エネルギーなど環境に関する情報、環境関連のイベントのお知らせを紹介します。

**URL** <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/miyagikankyo-e-news.html>

**担当** 環境生活部 環境政策課

**メルマガ・さんばい**

メルマガ

隔月で廃棄物行政に関する最新情報を登録者に配信し、適正な廃棄物の処理を推進します。

**URL** <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/merumaga-index.html>

**担当** 環境生活部 循環型社会推進課

**食の安全安心情報の提供**

ウェブ

消費者の視点に立った、正確で分かりやすい情報の提供や正しい知識の普及啓発を行います。取組宣言者に関する自主基準等の検索も行えます。

**URL** <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/shoku-k/sengen.html>

**担当** 環境生活部 食と暮らしの安全推進課

**みやぎNPO情報ネット**

ウェブ

県民のNPO活動への理解を得るとともに、NPOの活動促進を支援するため、NPOに関する様々な情報を提供します。

**URL** <http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

**担当** 環境生活部 共同参画社会推進課



## 2 県民生活の安定・向上

## 【現状、課題と取組の方向性】

インターネットの普及により、私たちは現実社会の距離を飛び超え、時間を短縮できるといった利便性を得ましたが、同時に顔の見えない相手とのやりとりに伴う相応のリスクが生じたことは、「ネット社会」の功罪と言えます。買い物やゲームなど、インターネット上のサービス利用についても同様であり、サービス形態が多様化・複雑化する中、いったんトラブルとなると解決は難しく、思わぬ心理的・金銭的な不利益をこうむる事例も発生しています。最近では、未成年者によるオンラインゲーム利用への高額料金請求などが社会問題化しました。

電子商取引の市場規模は拡大する一途であり、事業者は、実店舗よりも少ない人員・設備で参入したり、広告代理等の他事業者を介さずダイレクトに情報発信したりできること等から、従来の企業組織に比してモラルや顧客の個人情報保護が徹底しにくい面もあります。インターネット取引やネットオークションにおけるトラブルに加えて、サクラサイトやアダルトサイト、迷惑メールの送り付け、ワンクリック請求など、悪質な手口が多様化・巧妙化し、判断能力が未熟な若年層のみならず、シニア層まであらゆる年代が「ネットトラブル」の危険と隣り合わせと言えます。

本県消費生活センターに寄せられる消費生活相談件数の中でも、デジタルコンテンツやインターネット接続回線、携帯電話に係る事案は依然上位を占めています。

サービス提供者には社会的責任を踏まえた対応が求められる一方で、消費者には「ネット社会」における自衛の意識が求められます。

本県では、消費生活相談の対応はじめ、県民を対象とした消費生活出前講座等による情報提供や注意喚起、青少年のネットトラブルを未然に防ぐための家庭におけるルールづくりの啓発や通信事業者等と連携したフィルタリング機能の周知などにより、県民生活の安定・向上に努めていきます。



分野	3	環境・生活・衛生・廃棄物	項目	2	県民生活の安定・向上
----	---	--------------	----	---	------------

1 消費生活相談、啓発、情報提供

<b>目的・概要</b>	<b>性質・手法</b>	<b>その他</b>												
<p>県民からインターネット関連の相談を始めとした、消費生活全般に関する相談・苦情の受付をし、助言・あっせん・他機関紹介などの適切な処置を行っています。また、消費生活に関する出前講座の開催、ホームページや広報誌等の各種広報媒体を活用した啓発や情報提供を行い、県民の消費生活の安定と向上を図っています。</p>														
<b>重点目標</b>	安全・安心な暮らし 快適・便利な暮らし 活力ある豊かな地域 情報活用力の向上 行政運営の最適化													
<b>主体</b>	県													
<b>関連URL</b>	<a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syoubun/syohiseikatsu-center-index.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syoubun/syohiseikatsu-center-index.html</a>													
<b>スケジュール</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 6</th> <th>H 2 7</th> <th>H 2 8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～H 2 5</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td colspan="3">→</td> </tr> </tbody> </table>			H 2 6	H 2 7	H 2 8	～H 2 5	実施			継続	→		
	H 2 6	H 2 7	H 2 8											
～H 2 5	実施													
継続	→													
<b>担当</b>	環境生活部 消費生活・文化課													
<b>参考</b>	宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画													

2 犯罪等から青少年を守るためのインターネット安全利用の推進

<b>目的・概要</b>	<b>性質・手法</b>	<b>その他</b>												
<p>関係機関及び関係団体と連携してインターネット安全講習会を実施するとともに、啓発用リーフレットの配布や広報啓発資機材の貸出などを通して、携帯電話に係るフィルタリングの適正利用等青少年のインターネット安全利用を推進します。</p>														
<b>重点目標</b>	安全・安心な暮らし 快適・便利な暮らし 活力ある豊かな地域 情報活用力の向上 行政運営の最適化													
<b>主体</b>	県													
<b>関連URL</b>	<a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/sougurumiindex.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/sougurumiindex.html</a>													
<b>スケジュール</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 6</th> <th>H 2 7</th> <th>H 2 8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～H 2 5</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新 実施</td> <td colspan="3">→</td> </tr> </tbody> </table>			H 2 6	H 2 7	H 2 8	～H 2 5	実施			新 実施	→		
	H 2 6	H 2 7	H 2 8											
～H 2 5	実施													
新 実施	→													
<b>担当</b>	環境生活部 共同参画社会推進課													
<b>参考</b>	青少年の健全な育成に関する基本計画													



分野	4	保健・医療・福祉
----	---	----------

## 1 健やかな暮らしのサポート

### 【現状、課題と取組の方向性】

高齢社会にあつて、健康寿命を延ばす健康管理や予防医学が重視されるとともに、県民のだれもが、地域で安心して暮らしていくために、いつでも、どこでも、保健・医療・福祉サービスの提供を受けられるような環境づくりが望まれています。

医療技術の進歩に伴い、高度で先進的な医療や投薬治療が可能となっている一方で、地域によっては医療従事者の不足等により十分なサービスが受けられないという現状もあります。こうした問題の解消のため、一部の地域ではICTを活用した画像診断など遠隔地医療の取組も始まり、民間企業等の創意工夫による低コストなヘルスケアサービスの普及も試みられていますが、一般的な認知度や普及率が高いとまでは言いきれないのも現状であり、今後の発展が期待されています。

県では、これまでに「周産期医療情報システム」や「救急医療情報システム」を導入し、関係機関のネットワーク化や情報共有を進めることにより、搬送時間の短縮化や効率化の促進に取り組んできました。また、保健・医療・福祉関連情報について、ウェブサイト等で情報提供することにより、県民の不安の解消や健やかな生活のサポートに努めてきました。

今回の震災では、想定を上回る大津波により医療機関のカルテ等医療情報が消失したことで、被災者の医療活動にも大きな支障が生じました。このことを教訓として、県内の誰もが・どこでも安心して医療を受けられる地域医療体制の構築のため、被災地域における医療情報の電子化・バックアップ体制の確立、地域医療情報連携の構築、日常生活圏域包括ケアの実現を図ることを目的とした「災害に強い地域医療情報連携基盤」を整備するなど、ICTを活用した連携強化が着実に進められつつあります。

本県では、保健医療福祉分野における全国的な情報基盤の整備動向やICTの進展による一層の高度化の状況を見守りながら、利用者により高い満足が得られるサービス提供ができる体制整備を推進していきます。

分野	4	保健・医療・福祉	項目	1	健やかなくらしのサポート
----	---	----------	----	---	--------------

1 みやぎ医療福祉情報ネットワーク構築事業

目的・概要

性質・手法

その他

医療従事者の不足が懸念される中、切れ目のない医療の提供体制を推進するため、ICTを活用した地域医療連携システムを構築することにより、病院、診療所、福祉施設、在宅介護事業者等の連携強化・情報共有を図り、子どもから高齢者までだれもが、県内どこでも安心して医療が受けられる体制を構築します。

重点目標

安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域  
 情報活用力の向上 行政運営の高度化

主体

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iryuu/ict-index.html>

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	県全域拡張		
継続	→		

指標

みやぎ医療福祉情報ネットワーク接続医療機関数

現状値(26年7月末)	330施設	目標値(28年度末)	2,000施設
-------------	-------	------------	---------

担当

保健福祉部 医療整備課

参考

宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

みやぎ医療福祉情報ネットワークの構築

各医療圏におけるシステムは、「医療・介護・福祉のシームレスな情報連携」と「職種を越えた情報共有による真の地域包括ケアの実現」を目指したシステムです。



分野	4	保健・医療・福祉	項目	1	健やかなくらしのサポート
----	---	----------	----	---	--------------

## 2 周産期医療情報システムの運用

### 目的・概要

性質・手法

システム

情報発信

県内の主要な周産期医療施設間の情報ネットワークを構築し、消防本部や医療機関に空床等の医療情報を提供するとともに、周産期救急患者の搬送先の検索などが可能な情報システムを運用しています。

### 重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の高度化

### 主体

県

### 関連URL

<https://nicu.mmic.or.jp/>

### スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運用		
再構築	→		

### 指標

周産期医療情報システム登録医療機関数

現状値(25年12月末)	61件	目標値(28年度末)	61件
--------------	-----	------------	-----

### 担当

保健福祉部 医療整備課

### 参考

宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

## 3 救急医療情報システムの運用

### 目的・概要

性質・手法

システム

情報発信

インターネット化した救急情報システムの活用により、医療機関及び消防本部に提供する情報のリアルタイム化や提供情報を充実させることで、救急搬送時間の短縮などを図ります。また、携帯電話から災害情報入力を可能とする機能の提供により、被災時の情報共有の円滑化も図っています。

### 重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の高度化

### 主体

県

### 関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iryuu/tiiki03.html>

### スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運用		
継続	→		

### 指標

病院収容時間

現状値(25年12月末)	40.9分	目標値(28年度末)	平成27年全国平均
--------------	-------	------------	-----------

### 担当

保健福祉部 医療整備課

### 参考

宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

分野	4	保健・医療・福祉
----	---	----------

情報発信サイト等

**がん情報みやぎ** **ウェブ**

病院・相談支援センター・患者会等のがん情報や身近なかかりつけ医についての情報を検索でき、基礎知識、診断・治療方法、体験記等も紹介しています。

**URL** <http://cancer-miyagi.jp/>

**担当** 保健福祉部 疾病・感染症対策室

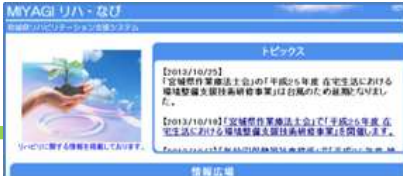


**MIYAGI リハ・なび** **ウェブ**

リハビリテーションに関する理解を深め、適切なサービスを利用できるようになるため、提供施設や関連情報を集約し、提供しています。

**URL** <http://www.pref.miyagi.jp/site/rehanavi/>

**担当** 保健福祉部 障害福祉課

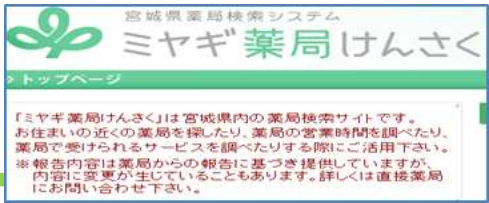


**ミヤギ薬局けんさく** **ウェブ**

薬局の適切な選択を支援するため、薬局開設者から報告された情報にもとづき、各薬局の機能に関する情報を公表しています。

**URL** <http://www.miyagi-kusuri.jp/>

**担当** 保健福祉部 薬務課




**すくすくタウン宮城** **ウェブ**

県内の子育て関連情報を網羅するサイトにより、妊婦・育児中の親・子育て支援者・企業などに必要な情報を集約して提供しています。

(H26.8.31サービス終了)

**URL** <http://sukumiya.jp/>  
(終了後) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kosodate/>

**担当** 保健福祉部 子育て支援課





## 2 誰もが住みよい地域社会の構築

### 【現状、課題と取組の方向性】

幸福や豊かさを意味する言葉「福祉」は、すべての人々の暮らしを支える重要な制度であり、人の手が直接人の暮らしを支えてきた福祉の分野にICTが活かされてこそ、その真価が問われるとも言えます。少子化が深刻な高齢社会にあつて、従来の家族内の支え合いによる自助機能が弱体化してきている現在、各方面で医療・介護等のサービスロボット、位置情報システム、人感センサー、音声・画像認識といった、高齢者、児童、障害者等を見守り支える新しい技術の研究開発が進められ、私たちの生活にも取り入れられ始めているところです。

また、インターネットによる情報収集・情報発信が広く普及している現在にあつては、利用方法が解らない人々は「情報弱者」になってしまう懸念がありますが、福祉制度の支援が必要な人々は、その傾向が強まってしまふとも言えます。一方で、日常生活に支援が必要であっても、ICTツールによるサポートやICT活用スキルの向上によって行動範囲を広げ、積極的に社会参加ができたり、システムエンジニアやプログラマーはじめ一般事務への就労に結びつくケースも期待されます。

本県では、障害者やひとり親家庭の父母等について積極的に講習受講の機会を提供し、就労支援や社会参加促進の取組を進めています。

また、震災は多くの県内外避難生活者や地域からの人口流出を生み、現在も仮設住宅に居住する方々等は不自由な暮らしを余儀なくされています。避難生活の長期化から来る従来の地域コミュニティ存続・維持への影響や被災者の生活不活発病も懸念されています。そのような中、県内の市町では、仮設住宅の居住者が安心して暮せるよう、地域の見守りや生活・健康相談等を行うためにサポートセンターを設置し、被災者の暮らしに寄り添う共助のしくみづくりに努めています。

さらに、市町村の中には、単身高齢の方々の生活の安全を確保するため、応急仮設住宅等（プレハブ住宅等）に居住する単身高齢者等の暮らしをセンサーや通報システムなどICTを活用して見守る取組も広がったところです。

本県では、応急仮設住宅（民間賃貸住宅）の供給業務を円滑に行うため管理システムを導入したり、市町のサポートセンターを支援する宮城県サポートセンター支援事務所を開設するなどして、被災者をはじめとする県民の生活支援を進めていきます。



分野	4	保健・医療・福祉	項目	2	誰もが住みよい地域社会の構築
----	---	----------	----	---	----------------

1	みやぎ障害者ITサポートセンターの運営			
<b>目的・概要</b>		<b>性質・手法</b>		その他
<p>IT利用に関する相談支援、情報提供を実施するとともに、障害児者を対象としたパソコン研修会等を実施することにより、障害者のITの利用機会の拡大や技術取得を促進することで、ITを活用した障害者の社会参加やITリテラシーを身に着けた障害者の就労等を支援します。</p>				
<b>重点目標</b>		安全・安心なくらし	快適・便利なくらし	活力ある豊かな地域
		情報活用力の向上	行政運営の最適化	
<b>主体</b>		県		
<b>関連URL</b>		<a href="http://www.tpminc.co.jp/it/INDEX/index.html">http://www.tpminc.co.jp/it/INDEX/index.html</a>		
<b>スケジュール</b>		H26	H27	H28
～H25		運営		
継続		→		
<b>指標</b>		講座・講習等の受講人数		
		現状値(25年度)	130人	目標値(28年度末)
<b>担当</b>		保健福祉部 障害福祉課		
<b>参考</b>		宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画		

2	宮城県聴覚障害者支援センター（仮称） 及びみやぎ被災聴覚障害者情報支援センターの運営			
<b>目的・概要</b>		<b>性質・手法</b>		情報発信
<p>聴覚障害者の生活に関する困りごと、悩み、不安などの相談対応、出前講座等を通じた聴覚障害者が地域に支えられる体制を構築するための事業のほか、生活に関連する情報の字幕付き手話動画を作成・配信したり、情報誌を発行するなどしています。 ※宮城県聴覚障害者支援センター（仮称）は、平成26年度中に開設し、みやぎ被災聴覚障害者情報支援センターが行っている情報発信事業を引き継ぎます。</p>				
<b>重点目標</b>		安全・安心なくらし	快適・便利なくらし	活力ある豊かな地域
		情報活用力の向上	行政運営の最適化	
<b>主体</b>		県，東日本大震災聴覚障害者救援宮城本部（県事業受託者） 等		
<b>関連URL</b>		<a href="http://www.mimisuppo-miyagi.org/">http://www.mimisuppo-miyagi.org/</a>		
<b>スケジュール</b>		H26	H27	H28
～H25		運営		
継続		→		
<b>担当</b>		保健福祉部 障害福祉課		
<b>参考</b>		宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画		

分野	4	保健・医療・福祉	項目	2	誰もが住みよい地域社会の構築
----	---	----------	----	---	----------------

3 ひとり親家庭等就業支援講習会の実施

<b>目的・概要</b>	<b>性質・手法</b>	<b>その他</b>	
ひとり親家庭の父母等の就業機会の増大と自立促進を図るため、就職等に必要なパソコンの知識技能が習得できるよう、マイクロソフトエクセル・ワードのスペシャリストレベルの修了をめざすなどの講習会を実施しています。			
<b>重点目標</b>	安全・安心なくらし	快適・便利なくらし	
	活力ある豊かな地域	情報活用力の向上	
		行政運営の最適化	
<b>主体</b>	県、公益財団法人宮城県母子福祉連合会（宮城県母子福祉センター指定管理者）		
<b>関連URL</b>	<a href="http://www.h2.dion.ne.jp/~mivagi-b/">http://www.h2.dion.ne.jp/~mivagi-b/</a>		
<b>スケジュール</b>	H 2 6	H 2 7	
～H 2 5	実施		
継続	→		
<b>指標</b>	I T 関連講座，I T 講習会等受講者数		
	現状値(25年度)	22人	目標値(28年度末)
			40人
<b>担当</b>	保健福祉部 子育て支援課		
<b>参考</b>	宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画		

4 民間賃貸住宅借上げシステムの運用

<b>目的・概要</b>	<b>性質・手法</b>	<b>システム</b>
応急仮設住宅（民間賃貸住宅借上げ）の契約・支払・問合せ対応等を適切に行うため、システムを活用して約25,000件の契約情報の管理や支払データの作成を実施しています。		
<b>重点目標</b>	安全・安心なくらし	快適・便利なくらし
	活力ある豊かな地域	情報活用力の向上
		行政運営の最適化
<b>主体</b>	県	
<b>関連URL</b>	<a href="http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/minchin-s.html">http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/minchin-s.html</a>	
<b>スケジュール</b>	H 2 6	H 2 7
～H 2 5	運用	
継続	→	
<b>担当</b>	保健福祉部 震災援護室	
<b>参考</b>	宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画	

## 1 情報サービス関連産業の振興

### 【現状、課題と取組の方向性】

本県では、これまで、「商品販売・導入支援」、「大規模商圏や新市場からの市場獲得支援」、「関連企業の誘致による活性化支援」の施策を柱として、情報サービス関連産業の振興に取り組んできました。

しかしながら、震災により県内の企業活動が停滞し、発注者が生産設備の復旧を優先するなど投資を抑制したことなどにより、受注業務及び開発業務が大幅に減少し、県内ICT企業は、新たな取引先の確保や業務の転換が急務となっています。

また、雇用情勢は、震災による甚大な被害を受けた沿岸部を中心に依然として厳しく、被災者が求める事務的業務の求人が少ないこともあり、雇用のミスマッチが解消されていない状況が続いています。

情報サービス産業、コールセンター\*等は、雇用創出効果が大いに期待されることや周辺産業との融合・連携により他産業の復興・発展にも寄与することから、本県では情報サービス関連産業の集積・振興を図り、安定的な雇用の創出と震災からの早期の復興を目指しています。

### (1) 商品販売・導入支援

本県経済は、業種を問わず多くの大手企業の支店・営業所が立地し、「支店経済」とも言われてきました。情報サービス産業では、全国平均と比較して製造業、金融業など他業種からの直接受注が少なく、大手ICT企業を元請とする同業者からの受注の割合が全体の売上高の3割を超えるなど、下請け構造となっています。こうした構造から脱却するには、県内ICT企業の営業力強化を図り、創意工夫により開発された商品の販売支援策を講じるのが、効果的であると考えられます。

あわせて、復興途上の製造業などをはじめとする、今後有力なICTユーザーとなり得る商工業、農林水産業等の地域産業のニーズを取り込む機会等を増やし、対応する商品の開発・販売を支援することで、情報サービス産業の振興と、ICT導入による地域産業の競争力強化につなげていきます。

### (2) 大規模商圏や新市場からの市場獲得支援

経済センサス-活動調査（平成24年）によれば、情報サービス産業の売上高は、全国約21兆1,690億円のうち、東京都はじめ首都圏が約70%を占めるのに比して、本県分は同2,740億円と1.3%に過ぎない状況にあり、本県の情報サービス産業が大きく売上げを伸ばしていくためには、首都圏等からの市場獲得が避けて通れないものとなっています。首都圏等の企業との連携のためには、技術・ノウハウを習得し、企業間の信頼関係を構築することが重要です。

このことから、本県では、組込みシステム分野などを中心に、県内ICT企業が人材を派遣し、先進企業等においてOJT\*を受ける派遣OJT支援事業を実施してきました。エレクトロニクス化が進展する自動車関連産業及び高度電子機械産業の本県への集積は、県内ICT企業にとって大きなビジネスチャンスであり、これら産業のニーズを的確に把握することで、パートナー企業へと成長し、業務拡大していく必要があります。ほかにも、共同研究などで先進企業とのパイプを持つ東北大学はじめ県内学術研究機関との連携や技術シーズの実用化に取り組むことで、技術の習得を図りながら、新たな業務獲得を図ることも有効な方法となります。

また、スマートフォン、クラウド・コンピューティングなどの普及に伴い、アニメーションをはじめとするデジタルコンテンツの需要が急激に高まっています。インターネットの普及により全世界に向けたグローバルな情報発信が可能なことから、人口減少に向かう国内での消費に加えて、日本発のアニメ・ゲーム等コンテンツ産業の育成強化や海外進出を支援する「クール・ジャパン」といった政府の戦略も推進されているところです。

本県では、デジタルコンテンツについて、県内の開発拠点を有効に活用するとともに、首都圏等の情報発信力のある企業、地域由来のコンテンツ、地域資源などとの連携や地元人材の育成を通じた業務獲得を目指していきます。

### (3) 関連企業の誘致による活性化支援

県内ICT企業は、大部分が中小企業のため、経営基盤が弱く総合的な技術力も相対的に高いとはいえないのが現状です。そのため、県内の情報サービス産業の核となるような開発系ICT企業の立地が必要とされています。

県内での自動車関連産業、高度電子機械産業の集積により、ICT関連の開発需要が増大し、開発部門の立地が実現すれば、県内ICT企業への大きな波及効果が期待できることから、製造部門の誘致と連動した開発部門の誘致を積極的に進め、関連産業の一層の集積を図るとともに、誘致した開発部門を核とした県内の情報サービス産業の活性化に取り組めます。

また、従来から誘致を進め、一定の集積がなされたコールセンター、BPOオフィス\*等の立地は、雇用創出効果が期待でき、誘致要望の強い市町村もあることから、情報収集・提供による立地支援を継続するとともに、人材確保・育成面での定着支援に取り組んでいきます。

分野	5	経済・商工・観光・雇用	項目	1	情報サービス関連産業の振興
----	---	-------------	----	---	---------------

1	<b>IT商品トライアル導入促進事業の推進</b>												
<b>目的・概要</b>	<p>県内ICT企業の開発商品のうち優れた商品を県が認定し、認知度向上を図るとともに、県内のクライアント企業にデモとして無償で提供し、認定商品の販路拡大と地元産業のICT化を通じた競争力強化を推進します。また、地域産業の課題を解決する商品を協働して開発することを支援することにより、各産業のICT化を推進します。</p>												
<b>性質・手法</b>	<p>他</p>												
<b>重点目標</b>	<p>安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域              情報活用力の向上 行政運営の最適化</p>												
<b>主体</b>	県												
<b>関連URL</b>	<a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho-i/it-trial.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho-i/it-trial.html</a>												
<b>スケジュール</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～H25</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	～H25	実施			継続	→		
	H26	H27	H28										
～H25	実施												
継続	→												
<b>指標</b>	<p>情報関連産業売上高</p> <table border="1"> <tr> <td>現状値(23年度)</td> <td>2,740億円</td> <td>目標値(28年度末)</td> <td>2,940億円</td> </tr> </table>	現状値(23年度)	2,740億円	目標値(28年度末)	2,940億円								
現状値(23年度)	2,740億円	目標値(28年度末)	2,940億円										
<b>担当</b>	震災復興・企画部 情報産業振興室												
<b>参考</b>	宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画												

2	<b>県内IT企業と地元産業とのマッチング事業の推進</b>												
<b>目的・概要</b>	<p>県内最大級の展示会「ビジネスマッチ東北」などへの出展により、IT商品トライアル導入促進事業認定商品のPR及びマッチングを実施し、市場への浸透を図ります。また、県内ICT企業と地域産業との情報交換などを通じ、県内ICT企業の技術・商品と地域産業のICTニーズのマッチングを行い、県内ICT企業の開発力向上や開発商品の販売促進につなげます。</p>												
<b>性質・手法</b>	<p>他</p>												
<b>重点目標</b>	<p>安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域              情報活用力の向上 行政運営の最適化</p>												
<b>主体</b>	県												
<b>関連URL</b>	<a href="http://www.bmtohoku.jp/index.html">http://www.bmtohoku.jp/index.html</a>												
<b>スケジュール</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～H25</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	～H25	実施			継続	→		
	H26	H27	H28										
～H25	実施												
継続	→												
<b>担当</b>	震災復興・企画部 情報産業振興室												



分野	5	経済・商工・観光・雇用	項目	1	情報サービス関連産業の振興
----	---	-------------	----	---	---------------

3 派遣OJT支援事業等の推進

目的・概要

性質・手法

その他

首都圏・中部圏等からの業務獲得に必要な知識・技術を習得するため、先進企業や大学等へ技術者を派遣する企業等に対する支援を行います。得られた知見は、地域で共有し、県内ICT企業の競争力向上を図ります。また、首都圏などで開催される展示会等に出展し、マッチングや販路拡大の支援を行います。

重点目標

安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域  
 情報活用力の向上 行政運営の最適化

主体

県

関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho-i/ojt-index.html>

スケジュール

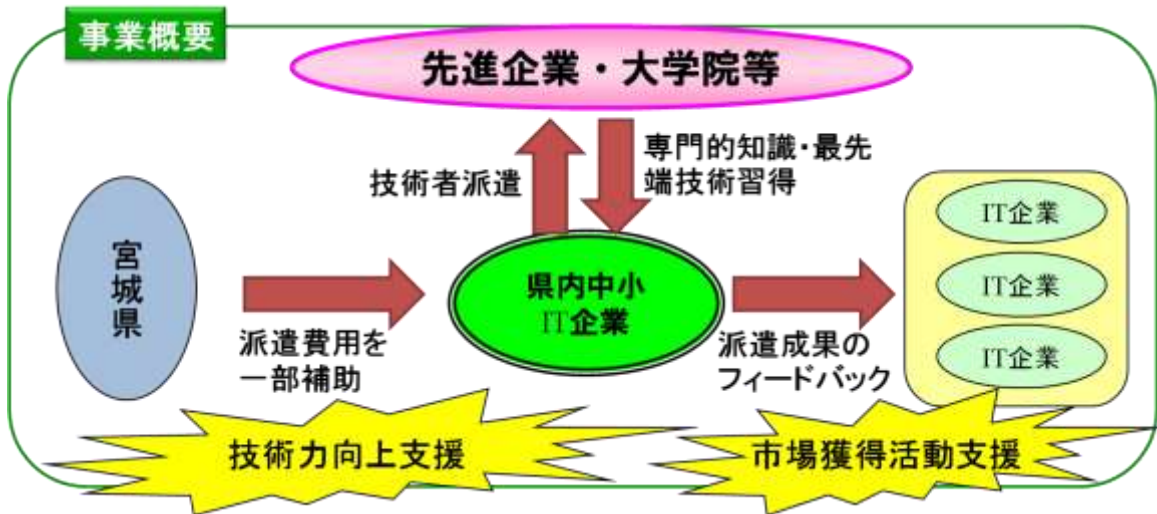
	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	実施		
継続	→		

担当

震災復興・企画部 情報産業振興室

参考

宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画





分野	5	経済・商工・観光・雇用	項目	1	情報サービス関連産業の振興
----	---	-------------	----	---	---------------

5	情報通信関連企業立地促進事業の推進				
<b>目的・概要</b>		<b>性質・手法</b>		<b>その他</b>	
<p>自動車関連産業，高度電子機械産業等のさらなる集積や県内の開発業務量の増加による活性化を図るため，立地奨励金の交付により立地時の初期投資を軽減し，開発系ICT企業や製造業のICT開発部門の誘致を推進します。</p>					
<b>重点目標</b>		<span style="background-color: #90EE90;">安全・安心な暮らし</span> <span style="background-color: #FFB6C1;">快適・便利なくらし</span> <span style="background-color: #FFD700;">活力ある豊かな地域</span> <span style="background-color: #ADD8E6;">情報活用力の向上</span> <span style="background-color: #A9A9A9;">行政運営の最適化</span>			
<b>主体</b>		県			
<b>関連URL</b>		<a href="http://www.pref.mivagi.jp/soshiki/jyoho-i/jyoho-shoureikin2.html">http://www.pref.mivagi.jp/soshiki/jyoho-i/jyoho-shoureikin2.html</a>			
<b>スケジュール</b>		H 2 6	H 2 7	H 2 8	
～H 2 5		実施			
継続		→			
<b>指標</b>		開発系IT企業（ソフトウェア開発企業）立地件数			
		現状値(24年)	1件	目標値(28年度末)	5件
<b>担当</b>		震災復興・企画部 情報産業振興室			

6	民間投資促進特区（IT産業版）等の活用による企業集積の促進			
<b>目的・概要</b>		<b>性質・手法</b>		<b>その他</b>
<p>震災により厳しい経営状況にある情報サービス関連産業の振興や雇用の創出を図るため，県内17市町村と共同で作成した情報サービス関連産業の集積・振興を図る復興推進計画に基づき，ICT産業の集積や地元企業の振興を図ります。</p>				
<b>重点目標</b>		<span style="background-color: #90EE90;">安全・安心なくらし</span> <span style="background-color: #FFB6C1;">快適・便利なくらし</span> <span style="background-color: #FFD700;">活力ある豊かな地域</span> <span style="background-color: #ADD8E6;">情報活用力の向上</span> <span style="background-color: #A9A9A9;">行政運営の最適化</span>		
<b>主体</b>		県，17市町村		
<b>関連URL</b>		<a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho-i/hukkoutokku-it.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho-i/hukkoutokku-it.html</a>		
<b>スケジュール</b>		H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5		実施		
継続		→		
<b>担当</b>		震災復興・企画部 情報産業振興室		
<b>参考</b>		次ページ下図（→67ページ）		

分野	5	経済・商工・観光・雇用	項目	1	情報サービス関連産業の振興
----	---	-------------	----	---	---------------

7	コールセンターサポート事業の推進		
<b>目的・概要</b>	<b>性質・手法</b>	<b>その他</b>	
<p>立地企業が活動しやすい環境づくりの一環として、みやぎコールセンター協議会が行う、人材募集やコールセンターに関する認知・啓発活動、人材育成などを支援し、安定的な雇用の確保と立地企業の他県流失防止を図るとともに、集積が進んでいる仙台市中心部へのさらなる立地と、県内地方都市への立地を誘引します。</p>			
<b>重点目標</b>	安全・安心なくらし	快適・便利なくらし	活力ある豊かな地域
	情報活用力の向上	行政運営の最適化	
<b>主体</b>	県，関係団体		
<b>関連URL</b>	<a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho-i/cckvogikai-index.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho-i/cckvogikai-index.html</a>		
<b>スケジュール</b>	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	実施		
継続	→		
<b>担当</b>	震災復興・企画部 情報産業振興室		

## 民間投資促進特区（IT 産業版）

### ■計画の目標

- ・県内の情報サービス関連産業は、震災による企業活動の停滞に伴い受注業務及び開発業務が大幅に減少し、非常に厳しい経営状況が続いており、また、県内の雇用情勢は、東日本大震災による甚大な被害を受けた沿岸部を中心に厳しい状況にあります。
- ・IT関連企業、コールセンター等は、雇用創出効果が大いに期待されることや周辺産業との融合・連携により他産業の復興・発展にも寄与することから、情報サービス関連産業の集積・振興を図り、被災地の震災からの早期の復興とともに安定的な雇用の創出を目指すものです。

### ■復興産業集積区域

東日本大震災により多数の被災者が随頭を余儀なくされ、又は生産活動の基盤に著しい被害を受けた地域（雇用等被害地域）である津波浸水地域から通勤圏内にある商業、工業等の用途地域、今後開発が可能な地域などの区域を指定。（全78区域）



**復興推進計画の区域**

仙台市、石巻市、気仙沼市、白石市、名取市、多賀城市、登米市、栗原市、東松島市、大崎町、亶理町、利府町、大和町、富谷町、大衡村、女川町及び南三陸町

10市6町1村

集積区域の詳細はこちら！  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho-i/>



分野	5	経済・商工・観光・雇用	項目	1	情報サービス関連産業の振興
トピックス		ビッグデータ			

近年、クラウドサービスやソーシャルサービスといったネットワーク上のサービスが定着したことに加え、スマートフォンの普及やM2M通信（機器間の通信）の進展などにより、多様で膨大なデジタルデータが生成され、ネットワーク上で流通し、蓄積されています。

こうした多種多様なデータを、分野横断的にリアルタイムで活用して様々な事象の予測を行うことなどにより、業務の効率化や新たなサービスの提供につなげる取組が活発に行われるようになっていきます。

震災の際には、寸断された道路交通網の復旧が急ピッチで進められ、刻々と状況が変化する中、実際に車両が走行したデータが地図上で公開され、注目されました。

ほかにも、戦略的な企業経営のため、ユーザーごとに最適化された商品の広告をホームページ上に配信することや、来訪者の移動履歴を基にした販売戦略の立案や新たな観光ルートの開発などが行われたり、社会的課題の解決のため、車両の走行データから急ブレーキの多発箇所を抽出し、路面標示などの安全対策を講じたり、橋脚に多数のセンサーを取り付け、橋のひずみや振動などを検知して、橋の破損状況を把握するなど、その応用分野は多岐にわたっています。

国では、こうしたデジタルデータの利活用が世界最高水準で実現するよう積極的な推進を図ることとしており、データ利活用と個人情報及びプライバシー保護との両立に配慮したデータ利活用ルール策定などの取組が進められています。

このような動きから、ビッグデータに関連する市場規模は、今後急拡大することが予測されています。

「ビッグデータを構成する各種データ（例）」 平成24年版総務省「情報通信白書」からの引用

:原出典は情報通信審議会ICT基本戦略ボード「ビッグデータの活用に関するアドホックグループ資料」





## 2 ICT人材の育成・確保

### 【現状、課題と取組の方向性】

日進月歩のICTは、システムエンジニアなど関連人材を旺盛に求め、あらゆる分野での人材の技能向上が必須（ひっす）となっています。また、ICT化が進展し、あらゆる産業分野に浸透している中、単なる技術者としてのみならず、価値創造者として高度な技術を持つ人材を育成する必要性が増しています。

例えば、最近、インターネット上や現実社会に溢れるビッグデータの解析・活用により企業活動等に新たな価値を創造できることが注目されていますが、ビッグデータの活用には、ICTはじめ統計学、心理学、業務知識等多様な資質を併せ持つデータサイエンティスト\*の存在が必要とされています。

企業の業務獲得や市場獲得に直結する即戦力は、人材確保の観点からも重視され、その育成は、地域の産業集積・振興を支える上で、重要性が一層高まっています。

情報サービス関連産業では、これまでも組込みシステム、オープンソースソフトウェア\*、情報セキュリティ、デジタルコンテンツ及び保健医療福祉関連といった分野を対象として、幅広い人材育成を行ってきたところですが、技術革新によるICT技術の高度化・細分化により、従来の汎用的なICT技術の価値は相対的に低下し、ICT人材の技術水準の維持が困難な状況となっています。

本県では、各高等技術専門校においてICT技能労働者の養成を行うとともに、カーエレクトロニクス関連技術者や高度電子機械技術者の育成を推進してきました。エンジン工場の建設や関連企業の進出など、震災後も集積が進んでいる自動車関連産業は復興の原動力として期待されていることから、これらのものづくり産業に不可欠な組込みソフトウェア\*開発に係る人材や、スマートフォン、クラウド・コンピューティングといった新技術により創出される市場に対応するビジネスモデルを企画し、商品開発ができる先見性を持った人材の育成が重要な課題となっています。このほか、震災後、県内各地にコールセンターが多数立地したことから、コールセンターやBPOオフィスの業務に対応する人材の育成や確保が一層求められています。

このような復興に向けた動きを地域経済が取り入れ、連動して発展するには、人材育成を継続し、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会（MISA）、みやぎモバイルビジネス研究会（MIMO S）、みやぎ組込み産業振興協議会（META）、みやぎコールセンター協議会など地域の業界団体や株式会社仙台ソフトウェアセンター（Navis）などの産業支援機関と連携して地域の技術水準を高めていくことや、即戦力が求められる分野の人材を育成することが急務となっています。

本県では、今後も、技術革新の動向やターゲットとする市場で求められる技術を吟味しながら、産学官の連携や関西、名古屋など、関連産業集積地との地域間連携による人材育成を促進し、質の高い高度ICT人材の育成・確保に努めていきます。

分野	5	経済・商工・観光・雇用	項目	2	ICT人材の育成・確保
----	---	-------------	----	---	-------------

1 | IT産業事務系人材育成事業の推進

**目的・概要** **性質・手法** **その他**

集積により求人ニーズが高まっているコールセンターやBPOオフィス等での人員確保を支援するとともに、求職ニーズの高い事務職の就業を支援するため、必要な知識・技術や待遇等の研修を実施し、事業者が求める即戦力となり得る事務系人材の育成・供給を促進します。

**重点目標** 安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域  
情報活用力の向上 行政運営の最適化

**主体** 県

**関連URL** <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jyoho-i/jimuryoku.html>

スケジュール		H 2 6	H 2 7	H 2 8
	～H 2 5	実施		
新	実施	→		

**担当** 震災復興・企画部 情報産業振興室

**参考** 宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画

70

分野	5	経済・商工・観光・雇用	項目	2	ICT人材の育成・確保
----	---	-------------	----	---	-------------

2	組込みソフトウェア開発研修事業		
目的・概要		性質・手法	その他
<p>県内ICT企業が、立地・集積する大手製造業や開発系企業のパートナーとして業務を獲得できるよう、技術知識、実践力の習得を図る技術者育成を行います。産業技術総合センターにおいて新人向けの初級研修、実践的スキルの向上を図る中級研修、技術動向を紹介するセミナーなど階層別の組込み研修を実施します。</p>			
重点目標	安全・安心なくらし	快適・便利なくらし	活力ある豊かな地域
	情報活用力の向上	行政運営の最適化	
主体	県		
関連URL	<a href="http://www.mit.pref.miyagi.jp/embedded/">http://www.mit.pref.miyagi.jp/embedded/</a>		
スケジュール	H26	H27	H28
～H25	実施		
継続	→		
担当	震災復興・企画部 情報産業振興室		

3	最先端ソフトウェア開発研修事業の推進		
目的・概要		性質・手法	その他
<p>県内ICT企業が、成長が期待できるモバイル産業や自動車関連産業、高度電子機械産業から業務を獲得できるよう、最先端の技術や手法の習得を図る研修・セミナー等を開催するなど、即戦力人材の育成を支援します。</p>			
重点目標	安全・安心なくらし	快適・便利なくらし	活力ある豊かな地域
	情報活用力の向上	行政運営の最適化	
主体	県、関係団体		
関連URL	<a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iyoho-i/kumikomikyogikai-index.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/iyoho-i/kumikomikyogikai-index.html</a>		
スケジュール	H26	H27	H28
～H25	実施		
継続	→		
担当	震災復興・企画部 情報産業振興室		

分野 5 経済・商工・観光・雇用 項目 2 ICT人材の育成・確保

## 4 みやぎカーインテリジェント人材育成センターの運営

## 目的・概要

## 性質・手法

## その他

本県及び東北への自動車関連産業の集積と振興を目的に、関連企業が設計・開発分野で求める人材を養成するため、東北に所在する大学・短大・高専・専門学校等の学生を対象に、自動車関連企業の現役技術者等を講師として、自動車の機能・構造、生産、設計、開発に係る研修を実施します。

## 重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

## 主体

県

## 関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jidousha/car-intelli26.html>

## スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運営		
継続	→		

## 指標

みやぎカーインテリジェント人材育成センター研修講座の実参加者数（累計）

現状値(25年10月末)	694名	目標値(28年度末)	874名
--------------	------	------------	------

## 担当

経済商工観光部 自動車産業振興室

## 5 みやぎ高度電子機械人材育成センターの運営

## 目的・概要

## 性質・手法

## その他

平成21年に産学官共同で立ち上げた「みやぎ高度電子機械人材育成センター」により、高度電子機械産業への就職を希望する大学生・高専生に対し、エレクトロニクス分野やメカトロニクス分野などの実習を中心とした研修を実施することで、優秀な若手技術人材を育成するとともに、高度電子機械関連産業への就職を促進していきます。

## 重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

## 主体

県、公益財団法人みやぎ産業振興機構

## 関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/shinsan/koudojinzai.html>

## スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運営		
継続	→		

## 指標

みやぎ高度電子機械人材育成センター研修講座の実参加者数（累計）

現状値(26年3月末)	139人	目標値(28年度末)	229人
-------------	------	------------	------

## 担当

経済商工観光部 新産業振興課

## 参考

みやぎ産業再生アクションプラン

分野 5 経済・商工・観光・雇用 項目 2 ICT人材の育成・確保

## 6 高等技術専門学校における職業訓練（IT関連分野）

## 目的・概要

## 性質・手法

## その他

白石高等技術専門学校における学卒者等を対象としたITに関する多様な訓練科目の提供や在職者向けIT関連講習会の開催、気仙沼高等技術専門学校オフィスビジネス科のほか、仙台・気仙沼高等技術専門学校においてIT関連の在職者訓練を実施しています。さらに、各高等技術専門学校において雇用情勢に応じた離転職者向けの委託訓練を実施しており、多くのIT関連科目の提供により就職促進を図っています。

## 重点目標

安全・安心な暮らし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

## 主体

県

## スケジュール

	H26	H27	H28
～H25	実施		
継続	→		

## 担当

経済商工観光部 産業人材対策課

## 7 障害者職業能力開発校における職業訓練（IT関連分野）

## 目的・概要

## 性質・手法

## その他

宮城障害者職業能力開発校では、東北で唯一の障害者向け国立県営職業訓練施設として、学卒者向け、重度視覚障害者向け、離職者向けなど様々なコース課程を設けてIT技術者の養成を行っています。

## 重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

## 主体

県

## 関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/site/mivashou/>

## スケジュール

	H26	H27	H28
～H25	実施		
継続	→		

## 担当

経済商工観光部 産業人材対策課（宮城障害者職業能力開発校）



### 3 商工業支援

#### 【現状、課題と取組の方向性】

企業活動においてもICTは欠かすことができない重要な経営基盤となっています。従来は、主に業務の効率化やコスト削減のためにICT機器が導入されてきましたが、現在では、電子商取引市場の活用や、顧客に対する新たなサービスの創造、低価格化したサーバ、クラウド・コンピューティングを利用した経営の効率化など、攻めのツールとしての活用例が多く見受けられます。震災後は業務のバックアップに関する意識も高まり、外部のデータセンターを活用するなどの例も増えているところです。

最近では、顧客・消費者のインターネット上の声を収集・分析して商品開発や販路拡大の基礎とし、製菓、建築、自動車といった産業各界における研究でもデータ解析にスーパーコンピューターが活用されるなど、ビッグデータをビジネスチャンスとして活用する動きが本格化し、スマートフォンをはじめ電子書籍等の新商品や3Dプリンター等の新技術は登場と同時に急速に浸透するなど、市場が急スピードで成長していくことが予想されます。

また、インターネット通信を介した在宅勤務（テレワーク）や事業所を持たない働き方（ノマドワーク）など、労働者の雇用・就労形態の選択肢も増え、個人の情報端末を業務に活用するBYOD\*など、企業経営におけるICTの活用例が注目されているところです。

さらに、社会保障や税制改革といった社内管理システムの対応も迫られるなど、ICT利活用の潮流は、企業にかつてない経営判断や変革を求めるものとも言えます。

このようにICTによる産業の活性化が広がりつつあった中で、本県の経済活動は震災によって多大な影響がもたらされました。

平成24年経済センサス調査結果によれば、震災前に比して宮城、岩手、福島の前3県における事業所数の減少は顕著であり、本県全体では11.8%、被災沿岸部の市町では7割近くも減少しているとの結果となっています。相当数の事業者が業務再開したものの、地盤の嵩上げ等を待ち、本格的な再開に至っていない事業者もあります。こうした被災地の産業が単なる復旧にとどまらない再生・復興を目指すにあたっては、震災前の生産ラインや販路の回復等に加えて、ICT化をはじめとした新商品・新技術の創出や新たな販路獲得そして経営環境変化への対応力も必要とされることです。

本県では、企業のニーズに即したICTコーディネータ等専門家の派遣や商店街団体等が行う情報化に対する支援などに取り組み、県内企業の競争力強化や経営効率化、地域商店街の活性化の促進に努めていきます。

分野

5

経済・商工・観光・雇用

項目

3

商工業支援

1

## 中小企業のICT活用支援

## 目的・概要

## 性質・手法

## その他

個々の企業にとってITをどのように利用できるのか、利用しなければならないのか分からない、企業間ネットワークの展開が進まず、ネットワークで得られる企業のメリットが大きくなる…こうした中小企業を取り巻く課題を解決するため、企業からの要望に基づきITコーディネータ等の専門家を派遣することにより、県内中小企業の競争力の向上を図ります。

## 重点目標

安全・安心な暮らし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

## 主体

県，（公財）みやぎ産業振興機構

## 関連URL

<http://www.joho-miyagi.or.jp/senmonkahaken>

## スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	実施		
継続	→		

## 担当

経済商工観光部 新産業振興課

2

## 商店街の情報化支援

## 目的・概要

## 性質・手法

## その他

商店街団体等が行う商店街の情報化システム等整備事業への市町村振興総合補助金などの支援を通じて、地域商店街の情報化を推進し、顧客ニーズの把握及び分析をすることで、地域住民の多様なニーズに対応できる暮らしの場としての商店街づくり、商店街の集客力向上及び地域商業の振興を図ります。

## 重点目標

安全・安心なくらし

快適・便利なくらし

活力ある豊かな地域

情報活用力の向上

行政運営の最適化

## 主体

県，商店街団体等

## 関連URL

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syokeisi/shin-syoten.html>

## スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	実施		
継続	→		

## 担当

経済商工観光部 商工経営支援課

分野	5	経済・商工・観光・雇用	項目	3	商工業支援
----	---	-------------	----	---	-------

3 スマートフォンテストラボみやぎによるコンテンツデザイン産業の支援

目的・概要

性質・手法

その他

主に自前で多数のテスト機器を整備できない中小企業、ベンチャー企業等向けに、産業技術総合センター内に、新たに開発されたアプリケーション、ハードウェア及びコンテンツ等の実機テスト環境を整備・提供することで迅速な製品テストを可能とし、関連産業の振興を支援します。

重点目標

安全・安心なくらし 快適・便利なくらし 活力ある豊かな地域  
 情報活用力の向上 行政運営の最適化

主体

県

関連URL

<http://www.mit.pref.miyagi.jp/design/spt/index.html>

スケジュール

	H 2 6	H 2 7	H 2 8
～H 2 5	運営		
継続	→		

担当

経済商工観光部 新産業振興課



## 4 「伊達な旅」観光業の振興

## 【現状、課題と取組の方向性】

観光は国の政策の戦略分野であるほか、地域の振興や再生を図る方策として、自治体を中心とする各地域が重点的に取り組んでいるところです。

従来、観光旅行に関する事前の情報源は、旅行会社、地元企業団体や自治体が発行するパンフレット・ガイドブックや友人・知人による口コミが中心でしたが、最近では、各種の口コミ情報サイトや個人によるブログ等により、現地の画像や参考となる周辺情報も含めて手軽に収集することができます。また、観光地の中には、地図データに観光施設や名所・名産品の情報を複合的に盛りこんだサービスサイト等を提供したり、スマートフォンのアプリなどに地元ゆかりのキャラクターを取り入れたりするなど、ICTは地域の独自性を打ち出し、現地での満足度を高めてリピーターを増やし、口コミ発信により他の旅行者を誘うなどの役割も果たしています。

さらに、インターネットの動画配信は、日本発のファッション、音楽、食文化、アニメなどの世界に向けた発信を手近なものとし、訪日外国人旅行者の増加にも結びついており、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催なども受け、今後も増加が期待されるところです。

震災後に大きく落ち込んだ本県の観光客入込数は、内陸部が回復をリードし、平成24年には県全体で震災前の約85%まで回復しました。沿岸部においても、観光施設等の再建や震災研修を目的とした語り部ガイド、教育旅行やボランティアツアーの受入などの観光復興の取組が行われ、復興の兆しが見えるものの、内陸部に比べると回復が遅れています。

平成25年4月から6月まで開催された「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」では、地域ぐるみの観光資源の磨き上げや県民が一体となったおもてなしなどにより誘客を図り、期間中のサンプル調査結果では観光客入込数はほぼ震災前の水準まで回復しました。

本県は、魅力ある観光地、豊かな自然、多彩な食材など、豊富な観光資源に恵まれていることに加え、仙台空港での格安航空会社による運行開始や経済発展のめざましい東南アジア方面の国際定期便の就航など新たな資源も生かして一層の誘客や顧客拡大につなげていく必要があります。そのために今後も、インターネット等の情報発信機能を最大限に活用し、効果的なPR活動を展開していきます。

分野	5	経済・商工・観光・雇用	項目	4	「伊達な旅」観光業の振興
----	---	-------------	----	---	--------------

1	観光集客施設無線LAN (Wi-Fi*) 設置の支援			
目的・概要		性質・手法		その他
<p>県内へお越しいただいた旅行者がパソコン，スマートフォンやタブレットなどで県内観光情報を入手しやすいよう，県内の主な宿泊施設，観光集客施設において無線LAN (Wi-Fi) 機器を設置して通信環境を整備する事業者に対して経費を補助します。</p>				
重点目標		<span style="background-color: #90EE90;">安全・安心なくらし</span> <span style="background-color: #FFB6C1;">快適・便利なくらし</span> <span style="background-color: #FFD700;">活力ある豊かな地域</span> <span style="background-color: #ADD8E6;">情報活用力の向上</span> <span style="background-color: #D3D3D3;">行政運営の最適化</span>		
主体		県		
スケジュール		H26	H27	H28
	~H25	実施		
新		→		
担当		経済商工観光部 観光課		
参考		みやぎ観光戦略プラン		

2	外国人観光客向けFREE Wi-Fiサービス			
目的・概要		性質・手法		その他
<p>外国人観光客の受入体制向上を目的としてNTT東日本・県内関係機関と連携し，県内へお越しいただいた外国人観光客向けにFREE Wi-Fi (フリーワイファイ) サービスを提供しています。仙台空港や観光案内所などで配付するカードの情報をスマートフォンなどに入力すれば，提供エリアにおいて14日間，無料でインターネットに接続し県内観光情報などを入手することができます。</p>				
重点目標		<span style="background-color: #90EE90;">安全・安心なくらし</span> <span style="background-color: #FFB6C1;">快適・便利なくらし</span> <span style="background-color: #FFD700;">活力ある豊かな地域</span> <span style="background-color: #ADD8E6;">情報活用力の向上</span> <span style="background-color: #D3D3D3;">行政運営の最適化</span>		
主体		県，県内市町，東日本電信電話株式会社宮城支店		
スケジュール		H26	H27	H28
	~H25	実施		
新	実施	→		
担当		経済商工観光部 観光課		
参考		東日本電信電話株式会社宮城支店「仙台・宮城観光FREE Wi-Fiの旅」		



分野 5 経済・商工・観光・雇用

情報発信サイト等

**みやぎ伊達な観光マップ**

ウェブ

地図情報活用システムにより、利便性が高く、誰にでも分かりやすいページを構築し、動画等の最新情報を発信して観光客の誘致促進を図ります。

URL <http://www.datenamap.com/>

担当 経済商工観光部 観光課

**みやぎデジタルフォトライブラリー**

ウェブ

県内観光名所の映像データについて、検索等機能を充実させ、外国語版も用意する等して公開しています。

URL <http://digi-photo.pref.miyagi.jp/index.php>

担当 経済商工観光部 観光課

**みやぎ観光復興支援センタースタッフブログ**

マルチメディア

ボランティアツアーの円滑な実施と震災経験についての学習・研修を目的として訪れる旅行者の支援を行い、県内への観光客の誘客促進を図っています。

URL <http://miyagikanko2011.blog.fc2.com/>

担当 経済商工観光部 観光課

**みやぎ復興人材ネットワーク事業**

ウェブ

求人登録、就職・生活関連情報、企業情報及び震災復興状況など多種多様な情報を提供し、県外避難者や就職者等の宮城へのU I ターンを支援します。

URL <http://miyagi-fukkojinzai.com/miyagi/>

担当 経済商工観光部 雇用対策課

